

室内環境測定セット IES-4000

操作方法取扱説明書（厚生労働省推奨報告書書式編）

OPERATION MANUAL 2



このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。
- ご使用前にこの取扱説明書と添付の保証書を最後までお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に保証書とともに大切に保管してください。

取扱説明書の構成

本製品では以下の取扱説明書を用意しています。

○本体取扱説明書（はじめにお読みください）

はじめに本書をお読みください。本製品の構成や接続方法について説明しています。

●操作方法取扱説明書（厚生労働省推奨報告書書式編）【本書】

タッチパネルを使った本製品の操作方法（厚生労働省推奨報告書書式）について説明しています。

○操作方法取扱説明書（連続測定編）

タッチパネルを使った本製品の操作方法（連続測定）について説明しています。

○校正・調整方法取扱説明書

各ユニットの校正方法について説明しています。

○通信ソフト取扱説明書（厚生労働省推奨報告書書式編）

Windows用通信ソフトの使用方法について説明しています。ここでは厚生労働省推奨書式による使用方法について説明しています。

○通信ソフト取扱説明書（連続測定編）

Windows用通信ソフトの使用方法について説明しています。ここでは連続測定を行う場合の使用方法について説明しています。

目次

ご使用の前に	1
はじめに	2
1. 起動画面	2
2. 動作モードの選択	2
3. 操作概要	3
4. 測定手順	5
4-1. 各測定器の設定	5
4-2. 建築物の設定	6
4-3. 測定場所の設定	6
4-4. 測定開始	7
4-5. 移動～測定	9
5. 設定方法	10
5-1. 測定待機画面	10
5-1-1. 測定場所の設定	10
5-1-2. 在室者数の設定	11
5-1-3. 喫煙者数の設定	11
5-2. 各種設定画面	12
5-2-1. 建築物の設定	13
5-2-2. 測定者の設定	14
5-2-3. 天候の設定	15
5-2-4. 測定時間の設定	15
5-2-5. ブザーの設定	16
5-2-6. バックライトの設定	16
5-2-7. クロックの設定	17
5-2-8. ID 番号の入力	17
5-2-9. 測定選択の設定	18
5-2-10. 測定器の設定	18
5-2-11. USB メモリデータ消去設定	19
5-2-12. データ処理設定	21
5-3. データ画面	23
5-3-1. 表示画面での編集	24
5-3-2. データキャンセル	25
6. トラブルシューティング	26
お問い合わせ	27

ご使用前に



- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、手近な場所に大切に保管し、いつでも取り出せるようにしてください。
- 本書の安全に関する指示は、内容をご理解のうえ、必ず従ってください。
- 製品本来の使用方法および取扱説明書に記載の使用方法をお守りください。

以上の指示を必ず厳守してください。
指示に従わない場合は、ケガや事故の恐れがあります。

■取扱説明書について

- 取扱説明書の内容は、製品の改良などにより予告無く変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれがあった場合は、お手数ですが当社までご連絡ください。
- 本書の著作権は柴田科学株式会社に帰属します。
本書の一部または全部を、柴田科学株式会社からの書面による事前の承諾を得ることなく複写、複製（コピー）、転載、改変することを禁じます。

はじめに

本取扱説明書では、IES-4000 本体の操作（厚生労働省推奨報告書書式）を中心に説明、記載しています。その他に関する内容は、他の取扱説明書をご参照ください。『厚生労働省推奨報告書書式』とは、『建築物における衛生的環境の確保に関する法律』における『空気環境の測定報告書』を作成するための測定モードです。

1. 起動画面

POWER スイッチを ON にすると、「初期画面」が表示されます。



初期画面

「初期画面」表示中に画面を指で触れると「動作モードの選択画面」が表示されます。

2. 動作モードの選択

IES-4000 は、“報告書作成”と“連続測定”の2つのモードがあります。



動作モードの選択画面

“報告書作成”：『建築物における衛生的環境の確保に関する法律』の『空気環境の測定報告書』を作成するための動作モードです。

本書ではこのモードについて説明します。

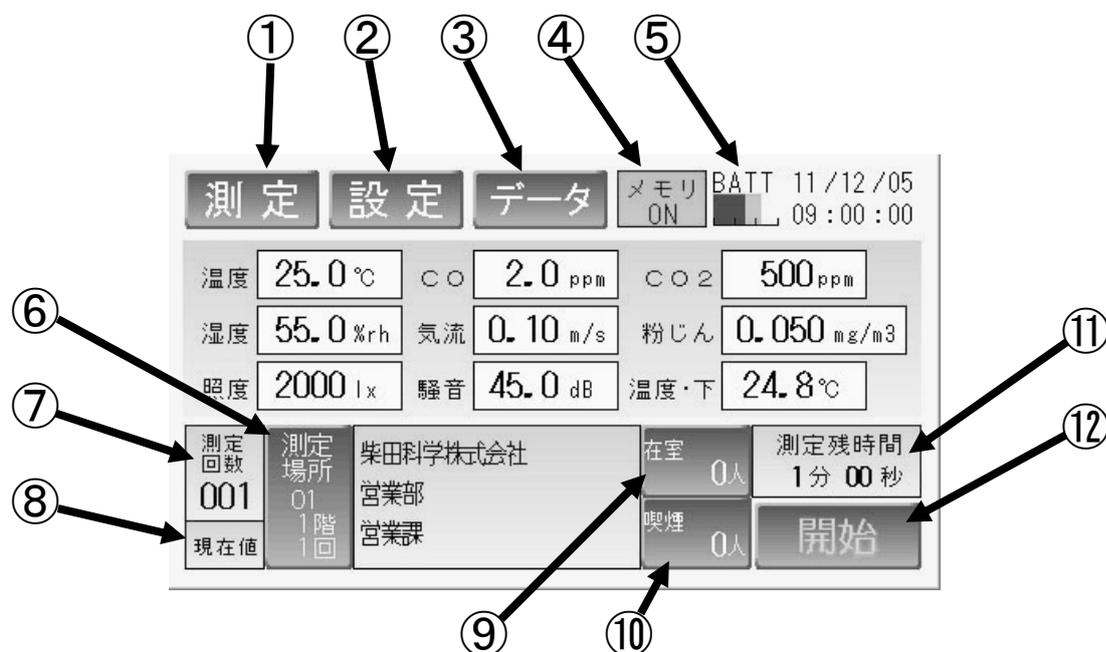
“連続測定”：汎用的な表計算ソフトウェア等を利用して、測定値の評価を行うための動作モードです。（詳細は操作方法取扱説明書（連続測定編）参照）

※動作モード選択後は、この画面には戻れません。再度この画面で選択を行う場合は、一度 POWER スイッチを OFF にして、再度 POWER スイッチを ON にしてください。

3. 操作概要

動作モード選択画面で「報告書作成」に触れると下記「測定待機画面」になります。

※この画面表示後、CO/CO₂計 UT-300 のポンプが動作します。



測定待機画面（報告書作成モード）

① 測定



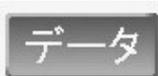
このキーに触れると測定待機画面に切り替わります。（P10 参照）

② 設定



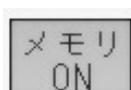
このキーに触れると各種設定画面に切り替わります。（P12 参照）

③ データ



このキーに触れるとデータ画面に切り替わります。（P23 参照）

④ USB メモリ



USB メモリの状態を表示します。

[ON] の表示のとき、USB メモリが挿入されています。

[OFF] の表示のとき、USB メモリは挿入されていません。

⑤ バッテリー



内蔵蓄電池の残容量を表示しています。

AC アダプター接続時は内蔵電池を充電しながらの動作となります。

1 目盛りで満充電時の約 33%です。これは測定状況、環境条件等に左右されますので、あくまで目安としてください。

※BATT マークが赤だけ表示されているときは、内蔵蓄電池の残容量がありません。速やかに充電作業を行ってください。

⑥ 測定場所

『空気環境の測定報告書』で印刷される測定場所のポイント番号を設定します。

USB メモリにポイント番号に対応するデータが登録されていると、その内容が表示されます。

⑦ 測定回数

測定ごとに付加される連続番号で、この番号を変更することはできません。

⑧ 表示内容

現在値

現在表示されている測定値の内容を表示します。

[現在値] 現在の測定値が 1 秒ごとに表示されます。

[保存値] 測定終了後の測定値が表示されます。

[有効] USB メモリに保存された値を表示することができます。

[無効] USB メモリからのデータは保存されているが、測定内容にエラーがあるとき。

⑨ 在室

『空気環境の測定報告書』で印刷される在室者数を設定します。

⑩ 喫煙

『空気環境の測定報告書』で印刷される喫煙者数を設定します。

⑪ 測定残時間

測定の残り時間を表示します。測定開始前は、現在の設定時間が表示されます。

⑫ 開始



このボタンに触れると測定を開始します。

4. 測定手順

本章では測定方法について説明します。各設定方法は次章以降をご参照ください。

電源投入後、「動作モードの選択画面」で“報告書作成”に触れると、「測定待機画面」が表示されます。

測定		設定		データ		メモリ ON	BATT 11/12/05	09:00:00
温度	25.0 °C	CO	2.0 ppm	CO ₂	500 ppm			
湿度	55.0 %rh	気流	0.10 m/s	粉じん	0.050 mg/m ³			
照度	2000 lx	騒音	45.0 dB	温度・下	24.8 °C			
測定回数 001	測定場所 01 1階 1回	柴田科学株式会社 営業部 営業課			在室 0人	測定残時間 1分 00秒		
現在値					喫煙 0人	開始		

測定待機画面（報告書作成モード）

4-1. 各測定器の設定

以下の指示に従って、必要な調整・設定を行ってください。

粉じん計

ゼロ、スパン調整を行い、K値の入力の確認を行ってください。
（校正・調整方法取扱説明書をご参照ください）

CO/CO₂計

一日の測定前にゼロ、スパン調整を行ってください。
（校正・調整方法取扱説明書をご参照ください）

温湿度・風速計

特に測定前に実施する作業はありません。

オプション品

- 騒音計 測定範囲を設定してください。
（校正・調整方法取扱説明書をご参照ください）
- 照度計 特に測定前に実施する作業はありません。
- 黒球温度計 特に測定前に実施する作業はありません。

IES-4000 本体測定状態の確認

本体背面のプローブブロックを引き上げて、温湿度、風速プローブを起こしてください（本体取扱説明書 7-1 参照）。IES-4000 本体検知部の高さ位置など、『建築物における衛生的環境の確保に関する法律』に従って IES-4000 を準備してください。

4－2．建築物の設定

必ず建築物の指定を行ってください。(P13 参照)

USB メモリを差し込んだ状態で建築物指定をした時、1 回測定を行えば、次回以降は自動的に同じ建築物名称にデータが保存される設定になります。

**必ず最初に建築物の指定を行ってください。
指定をしないと USB メモリに保存することができません。**

4－3．測定場所の設定

測定場所の設定

測定場所の設定を行ってください。(P10 参照)

測定場所は一度設定すると測定するたびに番号順に変わっていきます。順番通り測定しない場合は、測定するたびに測定場所を設定してください。

在室者の設定

測定場所の在室者を数えて、在室者数の入力を行います。(P11 参照)

喫煙者の設定

測定場所の喫煙者を数えて、喫煙者数の入力を行います。(P11 参照)

4-4. 測定開始

- (1) 4-3. までの設定が終了しましたら、「測定待機画面」まで戻ってください。
画面右下の“開始”に触れると測定を開始します。

測定	設定	データ	メモリ ON	BATT 11/12/05 09:00:00			
温度	25.0 °C	CO	2.0 ppm	CO2	500 ppm		
湿度	55.0 %rh	気流	0.10 m/s	粉じん	0.050 mg/m3		
照度	2000 lx	騒音	45.0 dB	温度・下	24.8 °C		
測定回数	001	測定場所	柴田科学株式会社 営業部 営業課	在室	0人	測定残時間	1分00秒
現在値	01階 1回			喫煙	0人	開始	

測定待機画面

- (2) 測定が開始されると、“開始”が“中断”に切り替わり、「測定残時間」の時間がカウントダウンを始めます。

測定	設定	データ	メモリ ON	BATT 11/12/05 09:00:05			
温度	25.0 °C	CO	2.0 ppm	CO2	500 ppm		
湿度	55.0 %rh	気流	0.10 m/s	粉じん	0.050 mg/m3		
照度	2000 lx	騒音	45.0 dB	温度・下	24.8 °C		
測定回数	001	測定場所	柴田科学株式会社 営業部 営業課	在室	0人	測定残時間	0分55秒
現在値	01階 1回			喫煙	0人	中断	

測定中画面

- (3) 測定を中断したい場合は「測定中画面」の画面右下の“中断”に触れてください。
再び“開始”に触れると設定した測定時間で測定を始め、中断まで測定したデータは無効となります。(測定の一時停止はできません)

- (4) 測定残時間が“0分00秒”になると、測定が正常に終了し表示内容が「保存値」に変わり、保存する内容の測定値が画面に表示されます。そして“中断”が“保存中”、“次測定”の順に切り替わります。USBメモリに保存する場合は、少し時間を要します。この段階では各測定値の内容のみメモリに保存します。

保存中は絶対にUSBメモリを抜かないでください。



測定データ保存中画面

- (5) 測定場所、在室者数、喫煙者数については、測定終了後でも変更が可能です。この項目の保存は、“次測定”に触れたタイミングで保存されます。



測定終了画面

- (6) “次測定”に触れると、「測定回数」の番号が1つ加算され、測定場所が次の番号に移動し、在室、喫煙の人数がクリアされます。表示内容が「現在値」に変わり、各測定データが現在の値に変わります。

- (7) 測定が終了しましたら、本体背面のプローブブロックをたたみます。

4-5. 移動～測定

- (1) 次の測定現場への移動が完了しましたら、その現場の測定条件を入力してください。
- (2) 入力方法は4-2., 4-3. をご参照ください。(P6 参照)
- (3) プローブブロックを引き上げ、検知部の準備を完了してください。
- (4) 表示画面上で条件設定等を確認し、OK ならば、「測定終了画面」右下の“開始”キーに触れてください。移動した現場での測定が開始されます。
- (5) 測定データは一つの建築物に対し、測定回数の番号で 400 件まで登録、保存することができます。

※データがいっぱいになると“FULL”と表示がでます。このメッセージが表示されると、以降のデータは保存できません。本体のメモリの場合は USB メモリにデータを移した後、USB メモリの場合はそのまま PC に接続し、他保存媒体にデータを移動させてください。次に USB メモリならびに本体メモリのデータをクリアしてからご使用ください。(P19～22 参照)



データがいっぱいになったときの画面

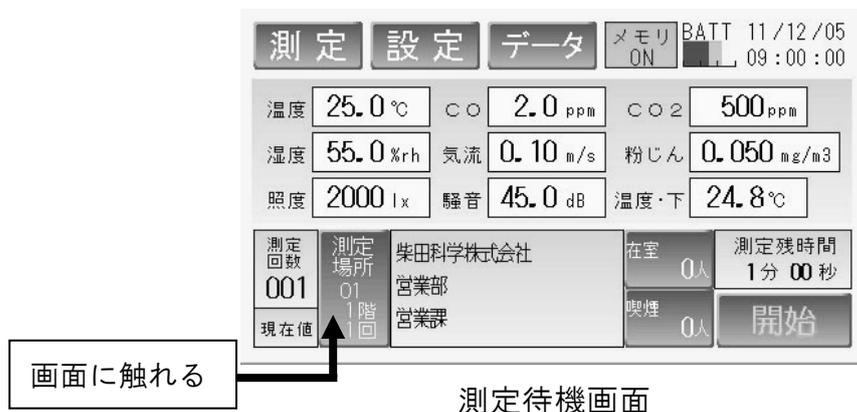
5. 設定方法

5-1. 測定待機画面

測定待機画面で設定可能な項目があります。

5-1-1. 測定場所の設定

(1) 測定待機画面中、“測定場所”に触れると、「測定場所画面」の画面になります。



- (2) 測定場所名称は PC を使用し、USB メモリに建築物のコード番号、及び測定場所の登録が入力済みで、建築物のコード番号が USB メモリの登録値と IES-4000 本体登録値が合致した場合に表示されます。このとき、USB メモリに建築物名称及び測定場所の入力が行われていれば、下図のように測定場所が固有名称で表示されます。
- (3) 前頁、次頁でページを変更することができます。
- (4) 測定場所を触れて、確認窓に目的の測定場所名称が表示されていることを確認後、“戻る”に触れて、「測定待機画面」に戻ります。



IES-4000 本体のみでは、この項目は入力できません。
建築物の設定をあらかじめ行わないと、この設定はできません。

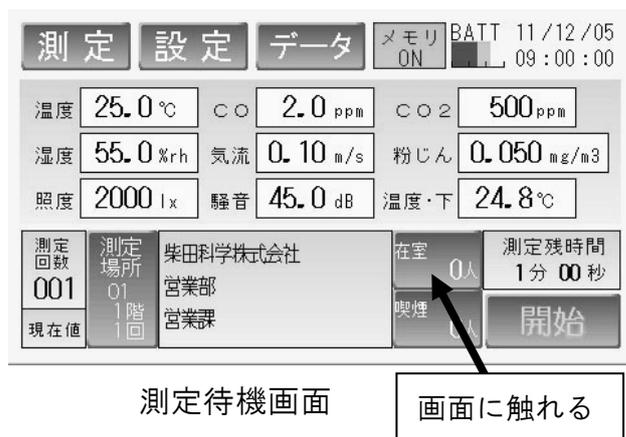
5-1-2. 在室者数の設定

- (1) 「測定待機画面」中、“在室”に触れると、「在室者数入力画面」になります。
- (2) 測定中に室内に在室している人数を数えて、テンキーの数字を入力してください。数値を訂正する場合は、“BS”または“Clear”キーで訂正をしてください。

※在室者数は0～255人まで入力可能です。

※測定終了後も次測定を開始する前であれば人数を変更することが可能です。

- (3) 入力後、“Enter”キーに触れてください。
“Enter”に触れ、処理を終了しませんでしたと、設定値が有効になりません。



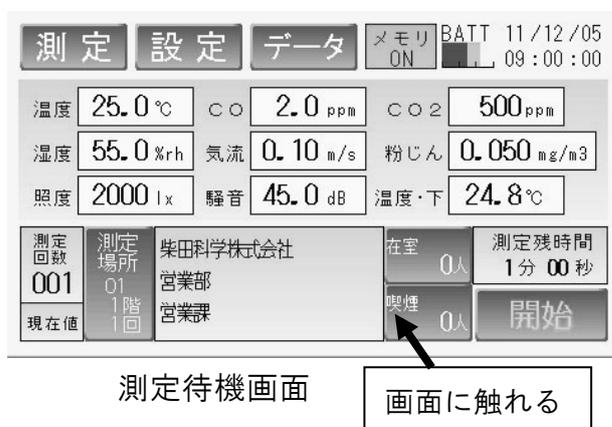
在室者数入力画面

5-1-3. 喫煙者数の設定

- (1) 「測定待機画面」中、“喫煙”に触れると、「喫煙者数入力画面」になります。
- (2) 測定中に室内で喫煙している人数を数えて、テンキーの数字を入力してください。数値を訂正する場合は、“BS”または“Clear”キーで訂正をしてください。

※喫煙者数は0～255人まで入力可能です。

※測定終了後も次測定を開始する前であれば人数を変更することが可能です。



喫煙者数入力画面

- (3) 入力後、“Enter”キーに触れてください。
“Enter”に触れ、処理を終了しませんでしたと、設定値が有効になりません。

5-2. 各種設定画面

「測定待機画面」の“設定”に触れると「設定画面（報告書作成モード）」になります。



設定画面（報告書作成モード）

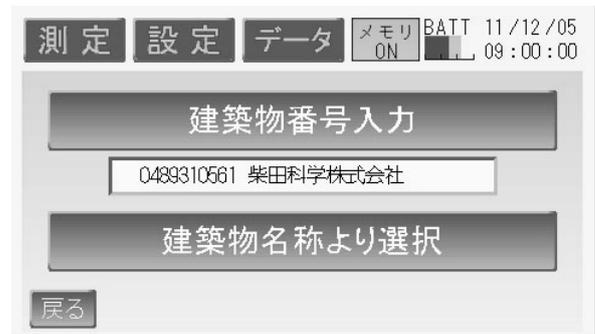
- “建築物” 『空気環境の測定報告書』で印刷される測定建築物の名称または番号を設定します。(P13 参照)
- “測定者” 『空気環境の測定報告書』で印刷される測定者を設定します。(P14 参照)
- “天候” 測定時の天候を設定します。(P15 参照)
- “測定時間” 1回の測定に要する測定時間を設定します。(P15 参照)
- “ブザー” タッチパネルに触れたときに音を出す、出さないを設定します。(P16 参照)
- “バックライト” タッチパネルのバックライト機能を設定します。(P16 参照)
- “クロック” IES-4000の現在時刻を設定します。(P17 参照)
- “ID番号” IES-4000のID番号を設定します。(P17 参照)
- “測定選択” 測定（タッチパネル）に反映させる項目を選択します。(P18 参照)
- “測定器” 使用する測定器で調整を必要とする機器を選択します。(P18 参照)
- “USBメモリ” USBメモリデータの消去を行います。(P19 参照)
- “データ処理” 本体に保存してあるデータの処理を選択します。(P21 参照)

5-2-1. 建築物の設定

- (1) 「設定画面（報告書作成モード）」の“建築物”に触れてください。
- (2) 「建築物設定画面」になります。

・ 建築物番号より建築物を指定する場合

- (1) “建築物番号入力”に触れます。
- (2) 「建築物番号入力テンキー」で建築物番号を入力します。
- (3) “Enter”に触れます。“Enter”に触れ、処理を終了しませんでした、設定値が有効になりません。
- (4) 建築物設定画面に建築物番号と建築物名称が表示されることを確認します。
- (5) “戻る”に触れ、「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。



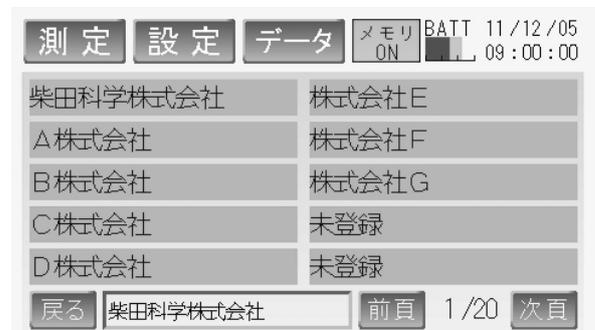
建築物設定画面



建築物番号入力テンキー

・ 建築物名称より建築物を指定する場合

- (1) “建築物名称より選択”に触れます。
- (2) 建築物名称一覧より建築物名称に触れて選択します。
- (3) “戻る”に触れます。
- (4) 建築物設定画面に建築物番号と建築物名称が表示されることを確認します。
- (5) “戻る”に触れ、「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。



建築物名称一覧画面

※USB メモリを差し込んだ状態で建築物を設定した時、1回測定を行えば、次回以降は自動的に同じ建築物名称にデータが保存される設定になります。
メモリへの保存数は建築物数 200 件、1 建築物あたり 400 件まで可能です。
USB メモリを差し込まない場合は、本体にデータが保存されます。
なお、本体のメモリには、1 建築物のみの保存しかできませんのでご注意ください。

IES-4000 本体のみでは、この項目は入力できません。
また、建築物設定を行わないと、USB メモリに記録できません。

5-2-2. 測定者の設定

- (1) 「設定画面（報告書作成モード）」の“測定者”に触れると「測定者設定画面」になります。設定したい測定者の項目に触れます。

例として“測定実施者”に触れた場合で以下、説明します。

測定実施者	100000 測定 一郎
測定補助者1	10002 測定 二郎
測定補助者2	1001 測定 三郎
測定補助者3	123456

測定者設定画面

- (2) “測定実施者”に触れます。
- (3) “測定実施者番号入力”または“名前より選択”に触れます。
- (4) 測定者番号または名前一覧より選択し測定者を選択し“戻る”に触れます。
- (5) 測定者設定画面にて測定者番号と測定者が表示されていることを確認します。
- (6) 測定補助者1～3までも同様の方法で測定者を選択します。
- (7) “戻る”に触れ、「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。

測定実施者番号入力	100000 測定 一郎
名前より選択	

測定者選択画面

※「空気環境の測定報告書」では、“測定実施者”が「実施者」、「測定補助者1～3」は「補助者」と印刷されます。

IES-4000 本体のみでは、この項目は入力できません。

USB メモリが本体に差し込まれていない場合は、測定者に名前が表示されません。

5-2-3. 天候の設定

(1) 「設定画面 (報告書作成モード)」の“天候”に触れると「天候入力画面」になります。

(2) 該当する天候に触れます。

例)

雨のち晴れの場合 “雨”、“のち”、“晴”

曇時々小雪の場合 “曇”、“時々”、“小”、“雪”

(3) “戻る”に触れ、「設定画面 (報告書作成モード)」に戻ります。



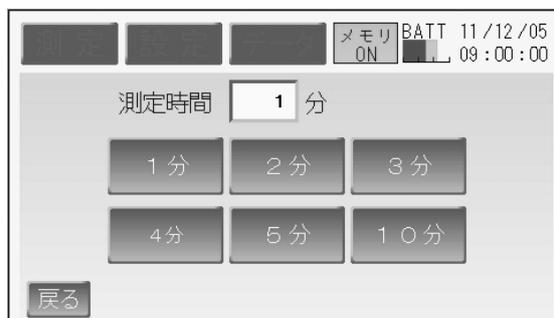
天候入力画面

5-2-4. 測定時間の設定

(1) 「設定画面 (報告書作成モード)」の“測定時間”に触れると「測定時間入力画面」になります。

(2) 測定時間は“1分”から“5分”まで1分間隔と“10分”の設定が可能です。測定する時間に触れて、「測定時間」の表示が変わることを確認してください。

(3) “戻る”に触れ、「設定画面 (報告書作成モード)」に戻ります。



測定時間入力画面

5-2-5. ブザーの設定

(1) 「設定画面 (報告書作成モード)」の“ブザー”に触れると「ブザー設定画面」になります。

“ブザーON” または “ブザーOFF” に触れます。

“ブザーON” でタッチパネルの操作ごとにブザーが鳴る設定です。

“ブザーOFF” でタッチパネルの操作ごとにブザーが鳴らない設定です。

測定において、タッチパネルの操作ごとにブザーが鳴ると在室者に迷惑になる場合などは、ブザーを鳴らさない設定 (ブザーOFF) にしてご使用ください。



ブザー設定画面

(2) “戻る” に触れ、「設定画面 (報告書作成モード)」に戻ります。

5-2-6. バックライトの設定

(1) 「設定画面 (報告書作成モード)」の“バックライト”に触れると、「バックライト設定画面」になります。

(2) “1分” ~ “5分” まで1分間隔と“常時点灯”が選択できます。



バックライト設定画面

(3) 消灯までの時間に触れて、「バックライト消灯時間」の表示が変わることを確認してください。

“常時点灯”を選択するとバックライト消灯時間は“0”分が表示されます。

(4) “戻る” に触れ、「設定画面 (報告書作成モード)」に戻ります。

※バックライトは点灯するために非常に大きな電力を使用します。本製品は現場測定においてバッテリー駆動を主体に設計しています。このため、操作に係わる作業を長時間中断する場合は、バックライトの消灯時間を設定することを推奨いたします。

5-2-7. クロックの設定

- (1) 「設定画面（報告書作成モード）」の“クロック”に触れると「クロック設定画面」になります。



クロック設定画面

- (2) 修正したい部分の項目について触れ、テンキーを使用し、正しい数値を入力してください。
- (3) 上の例は“2011”年 “12”月 “5”日 “9”時 “0”分 “0”秒 となっています。
- (4) 設定終了後、“決定”に触れクロックを決定してください。この時2月31日など、ありえない日付や時間を入力すると、決定前の日付・時刻に戻ります。
- (5) “戻る”に触れ、「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。

クロックを変更した場合“決定”に触れて確定しないと、変更したクロックは反映されませんので、ご注意ください。

5-2-8. ID番号の入力

- (1) 「設定画面（報告書作成モード）」の“ID番号”に触れると「ID番号設定画面」になります。
出荷時は、本製品のシリアル No.が入力されています。
- (2) “ID番号入力”に触れると「ID番号入力画面」が表示されます。数値を6桁まで入力します。



ID番号設定画面

※特に本製品を2台以上でご使用の際にはID番号を利用して管理すると便利です。

- (3) 数値入力が終わりましたら、“Enter”に触れ処理を終了させてください。
“Enter”に触れ処理を終了しませんでしたら設定値が有効になりません。
- (4) “戻る”に触れ、「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。



ID番号入力画面

5-2-9. 測定選択の設定

各測定項目の測定有効、無効を設定します。

- (1) 「設定画面（報告書作成モード）」の“測定選択”に触れると「測定項目のON/OFF 設定画面」になります。
- (2) 測定項目が白字で表示されているものが有効、灰字で表示されているものが無効設定になります。
右図の場合、“温度” “CO” “CO2” “湿度” “気流” “粉じん”の測定が有効になります。
- (3) 設定が終わりましたら、“戻る”に触れ、「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。



測定項目の ON/OFF 設定画面

5-2-10. 測定器の設定

各測定器を調整、校正するための設定です。

- CO・CO2 計 校正ガスによるゼロ値、スパン値の調整
- 粉じん計 標準散乱板兼ゼロフィルターによるゼロ値の調整、スパン値の調整、K値の設定
- 騒音計 測定範囲の設定

- (1) 「設定画面（報告書作成モード）」の“測定器”に触れると「使用測定器調整・設定画面」になります。
- (2) 設定が終わりましたら、“戻る”に触れ、「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。



使用測定器調整・設定画面

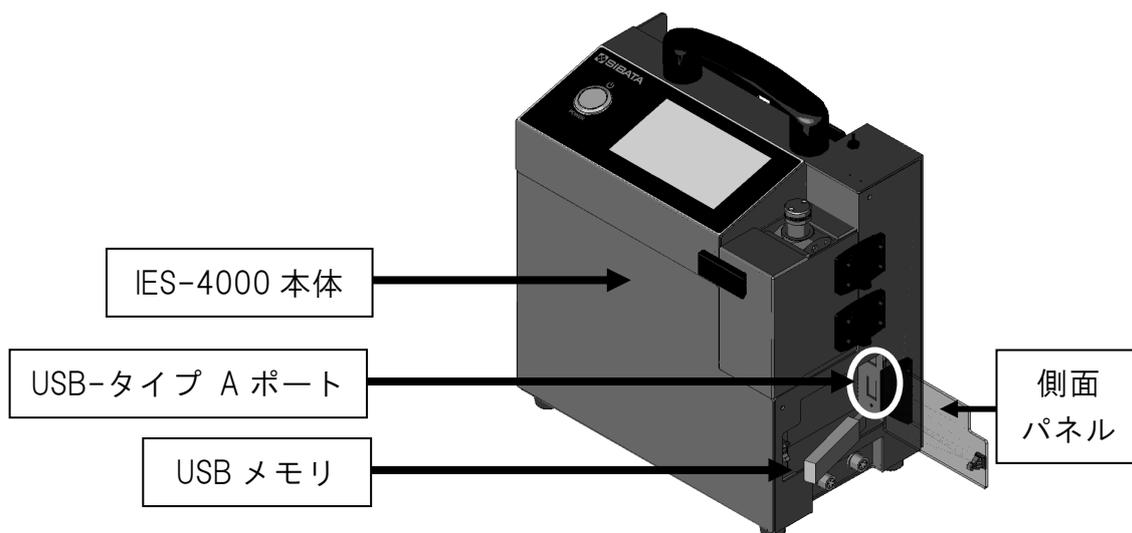
※詳細は校正・調整方法取扱説明書をご参照ください。

5-2-11. USB メモリデータ消去設定

IES-4000 は USB メモリを使用します。USB メモリは電気量販店にて購入できる一般汎用製品です。データ消去は IES-4000 本体でも、『空気環境の測定報告書作成プログラム』をインストールした PC 上からでも実行できます。

※USB メモリは長さ 75mm、幅 30mm、厚さ 20mm 以下のものを用意してください。
この寸法を超える USB メモリは本製品にきちんと接続できない場合があります。

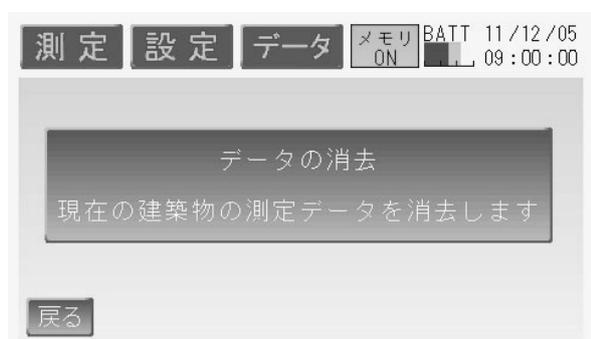
(1) USB メモリを IES-4000 本体の USB-タイプ A ポートにしっかり差し込んでください。



USB 差込み図

(2) 「設定画面（報告書作成モード）」の“USB メモリ”に触れると「USB メモリ消去画面」になります。

(3) “データの消去 現在の建築物の測定データを消去します”に触れると「USB メモリ消去実行画面」になります。



USB メモリ消去画面



USB メモリ消去実行画

(4) “データ消去”に触れます。

(5) 「消去中」から「成功」に変われば USB メモリのデータは消去され、正常に処理は終了されます。

(6) “戻る”に触れると「USB メモリ消去画面」に戻ります。再び“戻る”に触れ、「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。

※ “キャンセル”に触れると消去せずに「設定画面（報告書作成モード）」に戻ります。
※USB メモリ消去は建築物単位での消去となります。あらかじめ建築物を設定しないと消去できません。



USB データ消去中画面



USB データ消去成功画面

USB メモリの消去操作後、「失敗」と表示がされた場合、以下の手順で操作をご確認ください。

- ① USB メモリを抜き差しして再実行する。
- ② USB メモリが書き込み禁止状態でないか確認する。
- ③ USB メモリを交換する。

以上の操作でも改善されない場合は、お買い上げの販売店または当社各営業所までご連絡ください。



USB データ消去失敗画面

万が一、何らかの不具合が発生した場合でも、データの取得および記録ができなかった内容の補償、データ等の内容の損失、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。故障や事故に備えて定期的にデータのバックアップを行ってください。事前の動作確認等や定期点検をお勧めします。

5-2-12. データ処理設定

IES-4000 本体メモリの処理を行います。

「設定画面（報告書作成モード）」の“データ処理”に触れると「データ処理画面」になります。



データ処理画面

・測定データをメモリへ保存

IES-4000 本体メモリに保存されているデータを USB メモリへ保存するときに行います。

- (1) 「データ処理画面」の“測定データをメモリに保存”に触れると、「メモリデータ保存画面」になります。
- (2) “メモリへデータ保存”に触れます。“キャンセル”に触れれば、「データ処理画面」へ戻ります。
- (3) 「保存中」から「成功」に変われば USB メモリにデータが保存されたこととなります。



メモリデータ保存画面



メモリデータ保存中画面



メモリデータ保存成功画面

“失敗”と表示がされた場合、以下の手順で操作をご確認ください。

- ① USB メモリを抜き差しして再実行する。
- ② USB メモリが書き込み禁止状態でないか確認する。
- ③ USB メモリを交換する。

以上の動作でも改善されない場合は、お買い上げの販売店または当社各営業所までご連絡ください。

・測定データの外部出力

この項目は常に OFF で使用してください。

・測定データの消去

IES-4000 本体メモリに保存されているデータを消去するときに行います。

※この操作は、IES-4000 本体メモリに保存されたデータを消去するときの操作です。
USB メモリ内のデータを消去するときは、5-2-11. USB メモリデータ消去設定
をご参照ください。(P19 参照)

- (1) 「データ処理画面」の“測定データの消去”に触れると「データ消去実行画面」になります。
- (2) “データ消去”に触れます。“キャンセル”に触れば、「データ処理画面」へ戻ります。
- (3) 「消去中」から「成功」と変われば、メモリのデータが消去されたことになります。



データ消去実行画面



データ消去実行中画面



データ消去実行成功画面

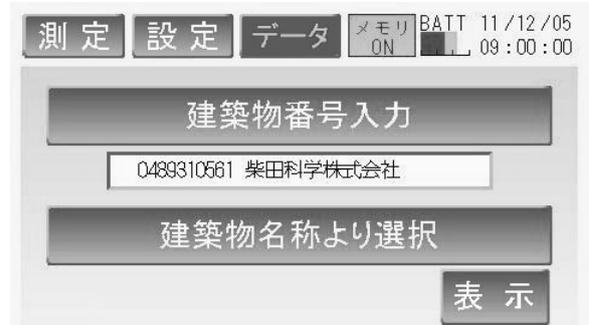
万が一、何らかの不具合が発生した場合でも、データの取得および記録ができなかった内容の補償、データ等の内容の損失、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。故障や事故に備えて定期的にデータのバックアップを行ってください。事前の動作確認等や定期点検をお勧めします。

5-3. データ画面

本体やUSBメモリの保存データを表示することができます。また、在室者数、喫煙者数をあとから入力したり、保存データを『空気環境の測定報告書』に印刷させたくない場合に、データをキャンセルしたりすることもできます。

- (1) 「測定待機画面」の“データ”部分に触れると「データ処理画面（報告書作成モード）」になります。

USBメモリを差した状態で作業を行うとUSBメモリ内のデータを、差していない場合は本体メモリ内のデータを処理します。



データ処理画面

- (2) “建築物番号入力”もしくは“建築物名称より選択”に触れ、建築物を指定した後“表示”に触れてください。

USBメモリが差さっていない場合は、本体メモリの建築番号が表示されますので、そのまま“表示”に触れてください。

「測定データ画面」が表示されます。



測定データ画面

5-3-1. 表示画面での編集

- (1) 測定データ画面では、保存されている建築物の最初のデータが表示されます。
- (2) 前のデータを表示させたい場合、また表示画面をもどしたい場合は、画面下の前、次キーを使用して目的のデータ表示画面まで移動してください。

The screenshot shows a measurement data screen with the following layout:

- Top bar: 測定 (Measurement) | 設定 (Settings) | データ (Data) | メモリ ON (Memory ON) | BATT 11/12/05 10:00:00
- Measurement data grid:
 - 温度 (Temp): 25.0 °C
 - 湿度 (Humidity): 55.0 %rh
 - 照度 (Illuminance): 2000 lx
 - 気流 (Airflow): 0.10 m/s
 - 騒音 (Noise): 45.0 dB
 - CO: 2.0 ppm
 - CO2: 500 ppm
 - 粉じん (Dust): 0.050 mg/m3
 - 温度・下 (Temp. Down): 24.8 °C
- Bottom section:
 - 測定回数 (Measurement Count): 001
 - 測定場所 (Measurement Location): 柴田科学株式会社 営業部 営業課
 - 有効 (Valid): 1階 1回
 - 在室 (Occupancy): 0人
 - 喫煙 (Smoking): 0人
 - Buttons: 前 (Previous), 次 (Next), データ OK (Data OK)

Callout boxes below the screen provide instructions:

- Left callout: 表示されたデータから “前” キーに触れると一つ前のデータが表示される (From the displayed data, touching the “Previous” key will display the previous data.)
- Right callout: “次” キーに触れると一つ次のデータが表示される (Touching the “Next” key will display the next data.)

- (3) この画面上において、“測定場所”、“在室”、“喫煙”に関して編集が可能です。変更が必要な場合は、それぞれのキーに触れて変更を行ってください。

5-3-2. データキャンセル

データキャンセルは、メモリに保存されたデータを『空気環境の測定報告書』に反映、印刷させないようにする処理です。

(1) 『空気環境の測定報告書』にデータを反映する場合、“データ OK” に触れます。

(2) 表示が“データキャンセル”に変わります。

※ “データ OK” とは、『空気環境の測定報告書』へ反映する状態を示します。

※ “データキャンセル” とは、『空気環境の測定報告書』へ反映しない状態を示します。

“データキャンセル” にすると、選択した測定番号のメモリはキャンセルされ、『空気環境の測定報告書』上では印字されません。

測定	設定	データ	メモリ ON	BATT 11/12/05 10:00:00	
温度	25.0℃	CO	2.0 ppm	CO2	500 ppm
湿度	55.0 %rh	気流	0.10 m/s	粉じん	0.050 mg/m3
照度	2000 lx	騒音	45.0 dB	温度・下	24.8℃
測定回数 001	測定場所 01 1階 1回	柴田科学株式会社 営業部 営業課	在室 0人	11/12/05 09:00:00	喫煙 0人
有効	前	次	データ OK		

データ保存画面

測定	設定	データ	メモリ ON	BATT 11/12/05 10:00:00	
温度	25.0℃	CO	2.0 ppm	CO2	500 ppm
湿度	55.0 %rh	気流	0.10 m/s	粉じん	0.050 mg/m3
照度	2000 lx	騒音	45.0 dB	温度・下	24.8℃
測定回数 001	測定場所 01 1階 1回	柴田科学株式会社 営業部 営業課	在室 0人	11/12/05 09:00:00	喫煙 0人
有効	前	次	データ キャンセル		

データキャンセル画面

キャンセルされたデータは、メモリ内にはそのまま保存されています。
この処理でデータがメモリから消えることはありません。

6. トラブルシューティング

修理にお出しになる前に以下の点についてもう一度点検してください。それでも正常な動作をしない場合は、お買い上げの販売店または当社各営業所までお問い合わせください。

症 状	原 因	処 置
表示が出ない、消えている。(ACアダプターを接続すると表示が出る)	内蔵電池の容量が不足している。	充電してください。 (本体取扱説明書 参照)
表示が出ない、消えている。	ACアダプターが正しく接続されていない。	ACアダプターの接続を確認してください。(本体取扱説明書 参照)
	バックライトの消灯設定がされている。	画面に触れる则表示されます。バックライトの設定を確認してください。 (P16 参照)
充電できない。 (BATTERY CHARGEランプが赤色やオレンジ色に点灯している)	充電エラー。 (赤色点灯)	ACアダプターを一度抜いて接続し直し、再度充電してください。 (本体取扱説明書 参照)
	周囲温度が高い。 (オレンジ色点灯)	温度の低い場所にしばらく放置してから再充電してください。 (本体取扱説明書 参照)
CO/CO ₂ 値が明らかに高い/低い。	ゼロ・スパンがずれている。	再度ゼロ・スパン調整を行ってください。 (校正・調整方法取扱説明書 参照)
	アルコールフィルターが劣化している。	アルコールフィルターを交換してください。(本体取扱説明書 参照)
	COセンサーの寿命。	COセンサーを交換してください。 (本体取扱説明書 参照)
	ダストフィルターが汚れている。	ダストフィルターを交換してください。 (本体取扱説明書 参照)
粉じん計の値が明らかに高い/低い。	ゼロ・スパンがずれている。	再度ゼロ・スパン調整を行ってください。 (校正・調整方法取扱説明書 参照)
粉じん計のゼロ値が大きい。	標準散乱板兼ゼロフィルター内部のフィルターが汚れている。	フィルターを交換してください。 (本体取扱説明書 参照)
時計がくるう。 本体にデータを保存できない。	基板搭載のコイン電池が切れている。	修理が必要です。販売店または当社各営業所までご連絡ください。
タッチパネルの反応が遅い。	処理に時間がかかる場合があります。	時計の秒数が止まっていれば、内部処理をしているので、完了するまでお待ちください。
測定場所や測定者の設定ができない。	建築物の設定をしていない。	あらかじめ建築物の設定を行う必要があります。(P13 参照)
USB 内のデータが消去できない。	建築物の設定をしていない。	あらかじめ建築物の設定を行う必要があります。(P13 参照)
ブザーが鳴らない。	ブザー音を消す設定になっている。	ブザーの設定を確認してください。 (P16 参照)
測定値が表示されない。	測定値を表示しない設定になっている。	測定器選択の設定を確認してください。 (P18 参照)

お問い合わせ

本製品につきまして、ご不明な点、ご用命などがありましたら、お手数ですが、お買い上げ販売店もしくは当社各営業所までお問い合わせください。

免責事項

本製品を使用中、万一何らかの不具合によって、データの取得および記録がされなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。

また、当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、補償していません。修理その他当社へのご依頼時は、必要なデータのバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

16.02.12H (06)



SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.

柴田科学株式会社

本 社 〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62

東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-433-1207

大阪営業所 ☎06-6356-8131 仙台営業所 ☎022-207-3750

名古屋営業所 ☎052-263-9310

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）



0120-228-766 FAX : 048-933-1590

フリーダイヤル

注) 改良のため形状、寸法、仕様等を機能、用途に差し支えない範囲で変更する場合があります。